



女性職員の活躍を紹介します



Q1 現在の業務内容は？

成人矯正第一課に所属し、管轄する刑務所及び拘置所の処遇及び警備に関する事務全般を担当しています。移送の調整、矯正護身術の指導及び検定、各種照会や内議等の処理のほか、昨年からコロナ禍のため中止となっている管区主催の武道大会の運営についても、現在の部署が担当します。

Q2 この仕事を選んだ理由は？

大学で法学部に在籍していたことから、刑務所見学に行く機会があり、そこで刑務官という職業を知りました。受刑者を改善更生へ導く刑務官に憧れて、社会復帰支援に携わりたいという思いから、刑務官を目指し始めました。

Q3 採用試験に合格するには、どんな勉強をしたらいいですか？

学校の受験や昇進試験でも同じことが言えますが、まずは試験内容の傾向を掴むことが大切です。私の場合は、参考書を使用して傾向を掴んだ後、残された期間で対策できそうな部分と捨てる部分を決めて勉強しようと考え、数的処理は基本的な考え方の応用で全問正解を目指して参考書を繰り返し解き、逆に、時事問題は出たとこ勝負と思って特に対策しませんでした。得意を伸ばすか、不得意を対策するか、やり方はいろいろありますが、過去問をひたすら解くのはおススメです。

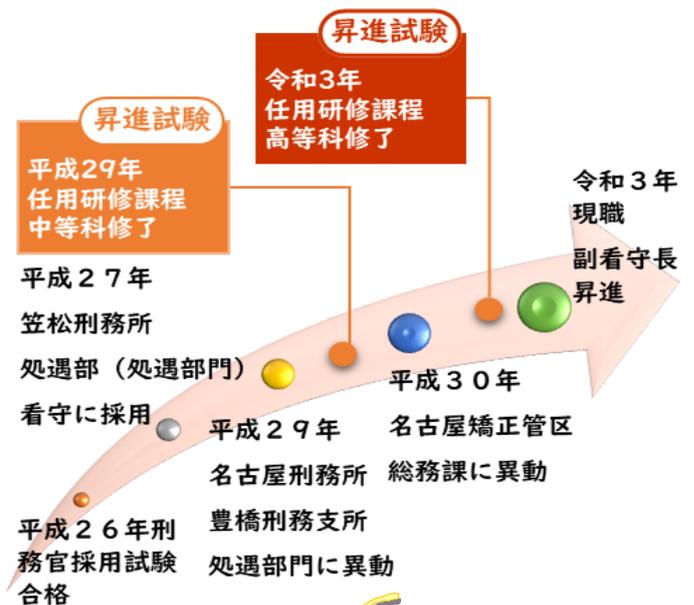
Q4 昇進試験を受けた理由は？

男子刑務所や拘置所も含め、多くの矯正施設で勤務し、各施設の処遇の特色について学びたいと思ったからです。また、矯正施設以外の他省庁や、「犯罪白書」を作成する法務総合研究所等で勤務できる可能性が得られる点も魅力に感じました。

Q5 有給休暇は取得できますか？

名古屋矯正管区では、ワークライフバランスの推進を重点施策としており、多くの職員が年間15日以上の子次休暇を取得しています。GWや年末年始等の前後で取

名古屋矯正管区 第二部 成人矯正第一課事務官



Past Career

得すれば、長期休暇をより長く過ごすことができます。また、7月から9月にかけて3日間取得できる夏季休暇のほか、各種の特別休暇等が制度で定められています。

刑務官を目指す方へひとこと！

刑事施設は、職員同士の仲間意識がとても強い職場です。勤務していると戸惑うことや大変なことも多くありますが、**必ず助けてくれる人がいるので、安心して働けます。**キャリアプランも形成しやすく、上昇志向の強い人にもうってつけです。ぜひ頑張ってください。